

経営比較分析表（令和元年度決算）

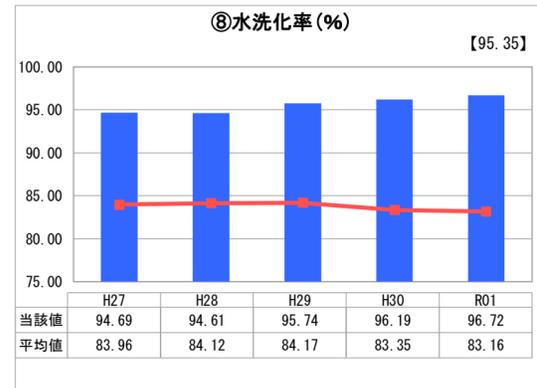
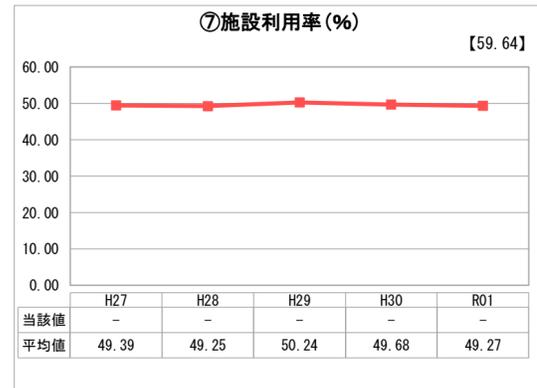
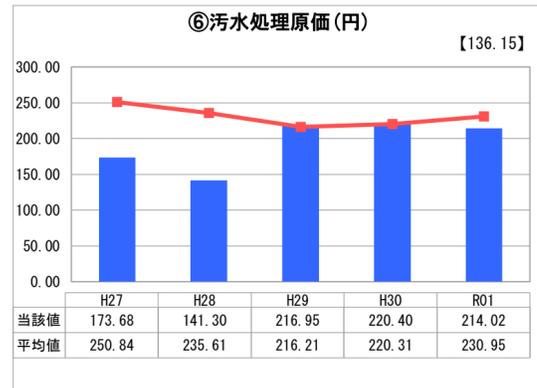
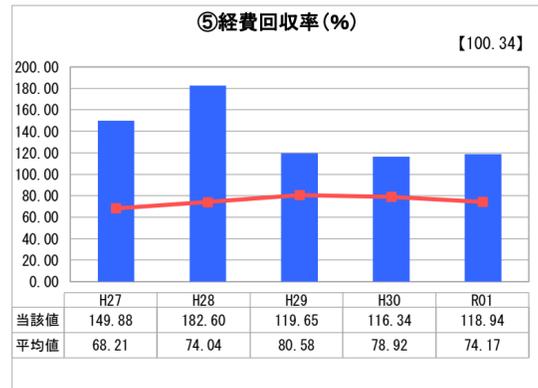
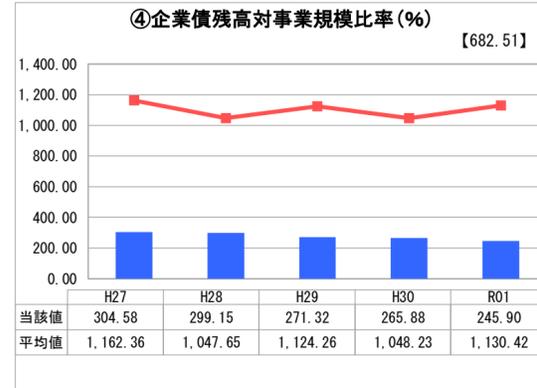
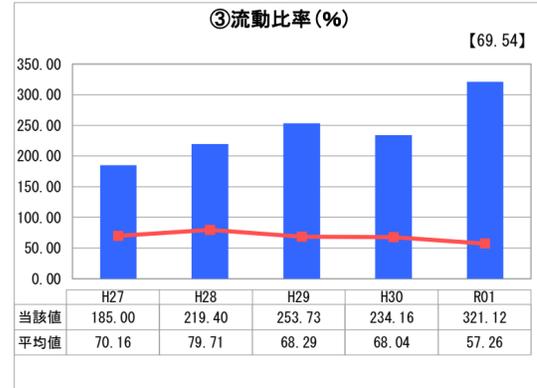
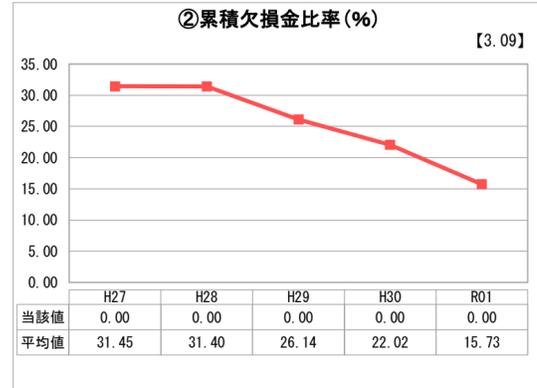
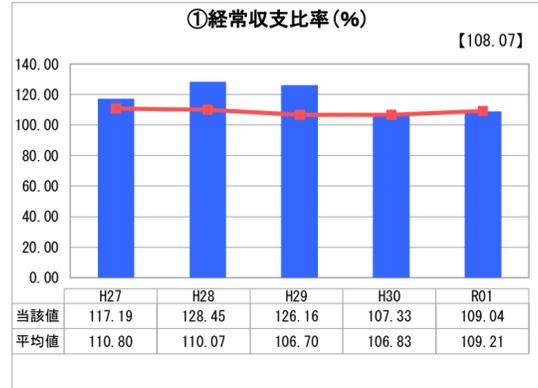
兵庫県 加西市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Cd2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 71.52 | 26.64 | 93.79 | 3,710 |

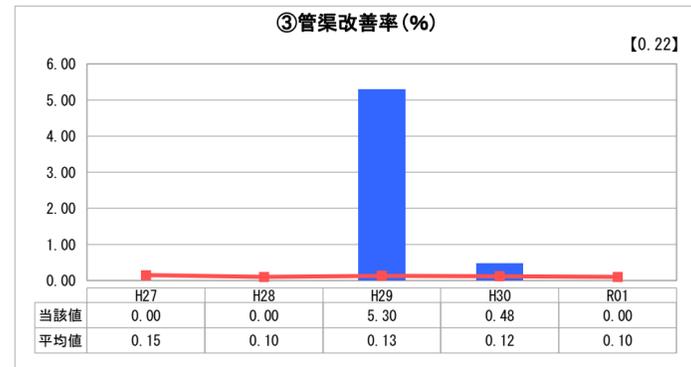
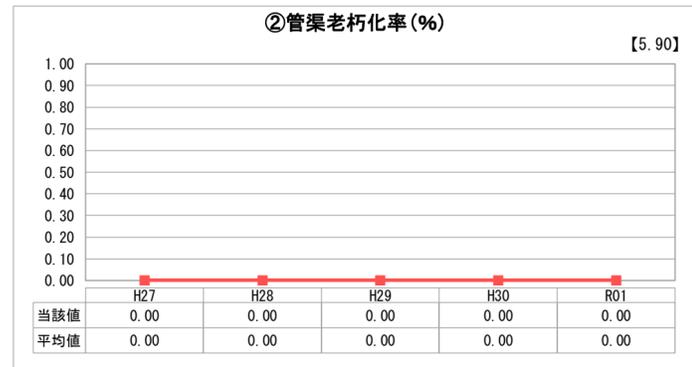
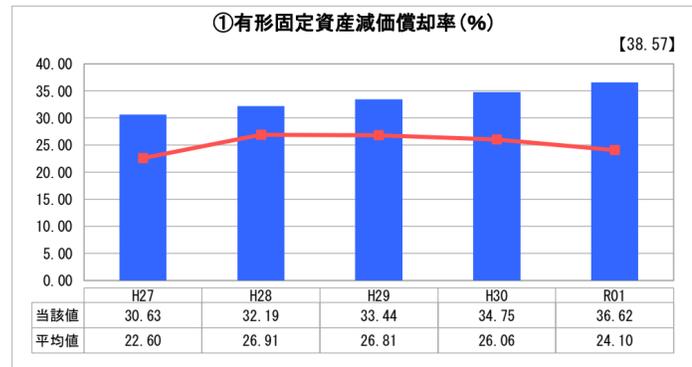
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 44,080 | 150.98 | 291.96 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 11,690 | 4.99 | 2,342.69 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 令和元年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は引き続き100%を上回っています。令和元年度は平成30年度に比べて使用料収入は同程度でしたが、主に減価償却費、支払利息の減少により費用が減少し、若干の数値の改善が見られます。今後も収入の減少傾向が続くと予測されるため、引き続き経費の節減に努める必要があります。

② 累積欠損金比率は平成27年度決算において解消され、以降においても発生しておりません。

③ 流動比率は引き続き良好な状況を保っています。

④ 企業債残高対事業規模比率は類似団体平均を大きく下回っており、適正な数値となっています。

⑤ 経費回収率は100%を超えており、使用料で経費を賄っている状況であるといえます。

⑥ 汚水処理原価は平成30年度より若干の数値の改善が見られ、類似団体平均を下回っています。

⑦ 当市には公共下水道の処理施設がないため、施設利用率は該当がありません。

⑧ 水洗化率については類似団体平均より高い水準ですが、今後も引き続き水洗化の促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は類似団体平均と比べると数値が高く、令和元年度末で36.62%となっており、全体の残存価額は7割程度残っていることとなります。

③ 平成29年度、30年度には一部の地域の管更生を実施したため、数値が高くなっています。

全体総括

当市の公共下水道事業については、一部の指標において類似団体平均を下回っていますが、概ね良い状況を保っているといえます。

ただ、市の下水道事業全体としては、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント事業の事業効率が悪く、非常に厳しい経営状況が続いています。

人口減少等による減収が予想される中、各事業ともに引き続き経費の節減と水洗化の促進等による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。